

栃木県わがまち未来創造事業実績書(市町総括表)  
**【単独・連携事業】**

市町名	下野市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
1	下野市小中学校音楽祭	総事業費		1,398,362	1,428,165	1,700,000	1,700,000	6,226,527
		うち市町支出額		1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	4,400,000
		うち県交付金		550,000	550,000	550,000	0	1,650,000
2	下野市天平マラソン大会	総事業費		4,761,983	4,904,135	5,146,101	4,780,000	19,592,219
		うち市町支出額		813,483	803,135	860,101	880,000	3,356,719
		うち県交付金		406,741	401,567	430,050	0	1,238,358
3	国分寺地区盆踊り&花火大会	総事業費			2,723,755	2,837,913	2,741,000	8,302,668
		うち市町支出額			810,000	828,000	828,000	2,466,000
		うち県交付金			405,000	414,000	414,000	1,233,000
4	下野市南河内地区一周駅伝競走大会	総事業費				632,554	720,000	1,352,554
		うち市町支出額				478,138	590,000	1,068,138
		うち県交付金				239,069	295,000	534,069
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	0	6,160,345	9,056,055	10,316,568	9,941,000	35,473,968
		うち市町支出額	0	1,913,483	2,713,135	3,266,239	3,398,000	11,290,857
		うち県交付金	0	956,741	1,356,567	1,633,119	709,000	4,655,427

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	下野市小中学校音楽祭
事業主体の名称	下野市小中学校音楽祭実行委員会
代表者の名称	実行委員長 大塩 宗里
事業主体の所在	329-0492 下野市笹原26番地(下野市生涯学習文化課内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:青少年の健全育成</li> <li>・設立年月日:令和元年6月25日</li> <li>・構成員等:下野市青少年育成市民会議理事及び市PTA、その他</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載</p> <p>下野市は平成18年に南河内町、石橋町、国分寺町が合併してできた市であり、市民が一体となって青少年の健全育成に取り組むため、「ファミリエ下野市民運動」を推進している。小中学校音楽祭実行委員会の構成組織となる、市青少年育成市民会議と各学校PTAにおいては、日頃から市と連携し子どもたちの健全育成に取り組んでいる。</p> <p>本事業は平成22年度から始まり、年々参加者と観覧者が増加し、近年では1,000人を超えている。市内小中学校児童生徒が一堂に会し、音楽を通じて交流することで、関係者はもちろんのこと、多くの市民のさらなる地域への愛着心を育てているものと考えているが、市民の社会参加意識やまちづくりに対する意欲をどのように高めていくかが課題である。</p>
事業目的	<p>事業の目的を簡潔に記載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を通して市内児童・生徒の心身の健全育成に寄与するとともに、親睦を図る。</li> <li>・家庭、地域、学校が連携して事業を行い、下野市民としての一体感を醸成する。</li> </ul>
事業概要	<p>【令和元年度】</p> <p>開催日:令和元年10月5日(土)</p> <p>実施内容:①市内各小中学校の児童・生徒による合唱・合奏の発表 ②市内大学の学生による合唱・合奏の演奏</p> <p>・児童・生徒の日々の練習の発表の機会とすることで、音楽に対する目標ややりがいを感じてもらい、意欲向上を図った。 ・イベントとして徐々に定着しつつある中で、市内大学の学生による積極的な参画を促し、市内で音楽に携わる児童・生徒や学生の交流を図りながら、より一層の市内の学校連携による一体感の醸成を図った。また、市青少年育成市民会議の負担割合を増やし、自主的な開催に向けたステップアップを図った。 ・市民の社会参加意識やまちづくりに対する意欲を少しでも高めてもらうため、会場において市民主体のイベント等のチラシの配布やポスターを掲示したほか、地域でまちづくりや教育事業に取り組む理科実験教室によるサイエンスショーを行い、小中学生に音楽だけでなく理科の楽しさも伝えながら会場を盛り上げた。</p> <p>【令和2年度】</p> <p>開催日:令和2年10月</p> <p>実施内容:①市内各小中学校の児童・生徒による合唱・合奏の発表 ②市内の高校・大学の学生による合唱・合奏の演奏</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標④安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる</p> <p>【数値目標】</p> <p>幸せだと感じている市民の割合:H26 75%→H31 78%【R1市民意識調査結果 77.0%】 住みやすいと感じる市民の割合:H26 84%→H31 87%【R1市民意識調査結果 86.7%】</p> <p>【KPI】</p> <p>小中学校の教育の取組の満足度:H26 4→H31 5【R1市民意識調査結果 4】 講座・講演会の年間受講者数:H26 8,242人→H31 8,600人【H30実績 9,350人】 公民館の利用者数:H26 14万7千人→H31 15万4,200人【H30実績 10万3,291人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①市内各小中学校の児童・生徒による合唱・合奏の発表 ②市内県立高校の生徒の合唱・合奏の演奏	①市内各小中学校の児童・生徒による合唱・合奏の発表 ②市内県立高校の生徒の合唱・合奏の演奏	①市内各小中学校の児童・生徒による合唱・合奏の発表 ②自治医科大学活動サークルのアカペラ披露・ピアノ演奏		①市内各小中学校の児童・生徒による合唱・合奏の発表 ②市内県立高校の生徒の合唱・合奏の演奏
事業費	1,398,362	1,428,165	1,700,000	4,526,527	1,700,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,100,000	1,100,000	1,100,000	3,300,000	1,100,000
うち県交付金	550,000	550,000	550,000	1,650,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	0
うち県交付金				0	
その他自主財源等	298,362	328,165	600,000	1,226,527	600,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生涯学習文化課(生涯学習推進グループ)
担当者名	漆原 聡
電話	0285-32-8919
連絡先 FAX	0285-32-8610
E-mail	syougai@akusyuubunka@city.shimotsuke.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	下野市小中学校音楽祭	
対象年度	元	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	1,100,000	下野市補助金
協賛金	600,000	下野市青少年育成市民会議協賛金
計	1,700,000	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	96,120	0	0	96,120	・講評者謝礼: 10,000円 ・ゲスト出演者謝礼: 21,000円 ・参加記念品代: 65,120円
消耗品費	816	0	0	816	事務用消耗品
食糧費	77,426	0	0	77,426	来賓及びスタッフ用 弁当、お茶代
印刷製本費	22,978	0	0	22,978	チラシ(4,800枚) プログラム(2,500枚)ほか
通信運搬費	11,110	0	0	11,110	実行委員会開催等郵送料
保険料	36,500	0	0	36,500	傷害保険(参加者730名分)
委託料	781,550	500,000	250,000	281,550	-ステージ設営費: 654,500円 -警備料: 44,550円 -ピアノ運搬代: 82,500円
使用料及び賃借料	673,500	600,000	300,000	73,500	-楽器搬送用トラック借上代: 82,500円 -バス借上代: 561,000円 -音響設備借上代: 30,000円
計	1,700,000	1,100,000	550,000	600,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	下野市天平マラソン大会
事業主体の名称	下野市体育協会
代表者の名称	下野市体育協会 会長 野口俊明
事業主体の所在	〒329-0492 栃木県下野市笹原26 (下野市教育委員会事務局スポーツ振興課内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体の目的:生涯スポーツの普及と振興を図り、市民の体力向上とスポーツマンシップを涵養することに努めるとともに、明るく豊かで潤いに満ちた市民生活と文化の形成に寄与する。</li> <li>設立年月日:平成18年3月26日設立</li> <li>構成員等:20種目別競技団体加盟</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	文化・歴史の薫る天平の丘公園周辺をコースとした天平マラソン大会は、年々参加者が増加し市内外から2,000名を超える参加者があり、生涯スポーツの推進、選手間の交流及び本市のイメージアップやPRの場となっている。しかし、豊富な歴史的資源等があるにもかかわらず、単に大会への参加にとどまり、滞在時間や再来訪者が少ない。本大会は、下野市の魅力を発信する貴重な機会のひとつであるが、現状ではまだまだ情報発信が十分でないことが課題となっている。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>明るく健康で潤いに満ちた生活を営むための要素として、生涯スポーツの振興を図る。</li> <li>大会を通し、役員や参加者間の交流が生まれ地域を超えた親睦の輪を広げる機会を提供する。</li> <li>多くの人々が集うことで地域を活性化し、地域の一体感や郷土愛の醸成を図る。</li> <li>本市の歴史、文化、特産品、自然などの資源や魅力の発信の場とし、本市への来訪者の増加を図る。</li> </ul>
事業概要	<p>【令和元年度】</p> <p>開催日:令和2年1月13日(成人の日) 開催場所:天平の丘公園周辺</p> <p>①大会の開催準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市体育協会陸上部と大会内容の確認を行い、その後、役員の分配を決定する調整会議、担当役員の役割についての説明会等を実施した。また、参加申込書やプログラム等を作成した。</li> <li>ポスターは市内だけでなく、市外の施設にも掲示し、宣伝PR活動を行った。</li> <li>ネットエントリーサービス(ランネット)によるマラソン愛好家への大会PRをはじめ、市ホームページを活用し、広く宣伝を行った。</li> <li>前大会の参加者より指摘のあった距離表示の方法等について改善を行い、更なる参加者満足度の向上を目指した。</li> <li>コースについて前大会開催時の運営役員からの情報を精査し、交通危険因子の排除及び大会の安全性向上を図った。</li> </ul> <p>②大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>競技種目は6コース(ハーフ・10km・5km・3km・2km・1km親子ペア)による23クラスで実施した。</li> <li>表彰は、各クラスの1位～3位にメダル・賞状・副賞、4位～6位まで賞状・副賞を授与した。</li> <li>また、全ての完走者に記録証を交付するとともに、参加者に記念品を配布した。</li> <li>第14回大会にちなみ、各種目14位に「飛び賞」を設けた。</li> </ul> <p>③市PRの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本市の特産品であるかんぴょうを使った「かんぴょう汁」の無料配布を行った。</li> <li>参加者へ配布するプログラム内での広告掲載、会場内特設ブースを利用した下野市のPR、観光協会による商品の販売などを実施した。</li> <li>プログラムに併せて観光パンフレットを配布し、大会終了後に近隣の店舗等に足を延ばしてもらうことで滞在時間を延ばすとともに、イベントのチラシを配布することで再来訪を促した。</li> </ul> <p>【令和2年度】</p> <p>令和元年度の取組を踏まえ、市のPRも兼ねた本市を代表するスポーツイベントとなるよう取り組んでいく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標②東京圏からの新しいひとの流れをつくる ④安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる</p> <p>【数値目標】 観光入込客数:H26 252万人 ⇒H31 277万人【H30実績 231万人】</p> <p>【KPI】 スポーツ活動の実施率:H26 51.7% ⇒H31 53.0%【市民アンケート調査(次回は令和2年実施予定)】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	第12回下野市天平マラソン大会の開催 ①大会の開催準備 ②大会の開催 ③下野市のPRの実施	第13回下野市天平マラソン大会の開催 ①大会の開催準備 ②大会の開催 ③下野市のPRの実施	第14回下野市天平マラソン大会の開催 ①大会の開催準備 ②大会の開催 ③下野市のPRの実施		下野市天平マラソン大会の開催 ①大会の開催準備 ②大会の開催 ③下野市のPRの実施
事業費	4,761,983	4,904,135	5,146,101	14,812,219	4,780,000
市町支出金 (ソフト事業分)	813,483	803,135	860,101	2,476,719	880,000
うち県交付金	406,741	401,567	430,050	1,238,358	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	3,948,500	4,101,000	4,286,000	12,335,500	3,900,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	スポーツ振興課(スポーツ振興グループ)
担当者名	日向野 拓也
電話	0285-32-8920
連絡先 FAX	0285-32-8611
E-mail	sports@city.shimotsuke.jp

## 栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。	
単位事業名	下野市天平マラソン大会		
対象年度	元	年度	
1 収入の部			
科目	精算額	備考	
市補助金	860,101		
参加料	4,146,000		
(参加料内訳)		【ハーフ】3,000円×699名 2,097,000円 【10km】2,500円×349名 872,500円 【5km】2,500円×171名(高校生以上) 427,500円 【5km】1,000円×123名(中学生) 123,000円 【3km】1,000円×214名 214,000円 【2km】1,000円×164名 164,000円 【1km】2,000円×124組(親子) 248,000円	
協賛金	140,000	【協賛料】30,000円協賛:1者、10,000円協賛:3者、5,000円協賛:6者 【出店料】5,000円、出店者10者	
計	5,146,101		

## 2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
報償費	884,680	860,101	430,050	24,579	表彰用メダル、参加賞タオル等 827,700円 運営協力、かんびょう汁協力、看護師派遣協力者への謝礼 51,000円 土地借用謝礼 5,980円
消耗品費	167,399	0	0	167,399	大会運営用消耗品等 167,399円
印刷製本費	445,832	0	0	445,832	大会パンフレット・ポスター・プログラム印刷代 445,832円
委託料	2,615,339	0	0	2,615,339	インターネット受付 134,090円 計測関係業務処理 1,928,979円 実施可否メッセージ案内 38,720円 交通誘導警備 394,350円 会場仮設電源・幕設置 31,500円 シャトルバス運行 75,900円 手話通訳 11,800円
使用料及び賃借料	561,352	0	0	561,352	仮設トイレ 190,850円 大会会場設備 330,000円 選手誘導バイク 22,300円 AED 10,494円 ガスコンロ 7,708円
食糧費	284,669	0	0	284,669	弁当・飲物代 250,398円 かんびょう汁材料 34,271円
保険料	186,830	0	0	186,830	選手役員大会マラソン保険代 186,830円
計	5,146,101	860,101	430,050	4,286,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	国分寺地区盆踊り&花火大会
事業主体の名称	国分寺地区コミュニティ盆踊り&花火大会実行委員会
代表者の名称	実行委員長 岡本 鉄男
事業主体の所在	下野市小金井5-22-1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:大会開催を通じて、市民の力で地域の連帯感を醸成する。</li> <li>・設立年月日:昭和61年</li> <li>・構成員等:国分寺中央コミュニティ推進協議会及び同協議会内自治会</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	国分寺地区はJR宇都宮線の小金井駅を中心とした住宅地とその周辺の農村地域からなる。集合住宅の増加や核家族化等生活様式が大きく変化し、かつての地域共同体が失われ地域の連帯感が希薄になりつつある。そのため、地域の連帯感を高めていく取り組みが求められていた。
事業目的	本大会を住民自ら手づくり開催するとともに、多くの市民の来訪により、地域の連帯感を醸成する。また、地元中学生の参加により、子どもの郷土愛を醸成する。
事業概要	<p>【令和元年度】</p> <p>○盆踊り&amp;花火大会の開催 開催日:令和元年8月3日(土) 盆踊り大会:地元お囃子会の演奏により地元各種団体が演技、審査表彰した✓ 花火大会:30分程度花火を打ち上げた。 来訪者:5,000人✓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協力団体として幼稚園、小中学校、子供会育成会などに協力いただき、親子で参加しやすい雰囲気づくりを心掛け、子どもの郷土愛の醸成に努めた。</li> <li>・踊りの審査員や放送スタッフとして国分寺中学校の生徒に積極的に関わってもらうことで、地域イベントに関わる経験を通して、地域の行事や地域の人との交流の良さを感じてもらった。</li> </ul> <p>【令和2年度以降】</p> <p>前年度開催内容を検証のうえ、改善すべき点があれば対応しながら、継続して開催していく✓</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】④安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる</p> <p>【数値目標】</p> <p>幸せだと感じている市民割合:H26 75%→R1 78%[R1市民意識調査結果 77.0%] 住みやすいと感じる市民の割合:H26 84%→R1 87%[R1市民意識調査結果 86.7%]</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	平成30年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	盆踊り&花火大会の開催	盆踊り&花火大会の開催	盆踊り&花火大会の開催		
事業費	2,723,755	2,837,913	2,800,000	8,361,668	
市町支出金 (ソフト事業分)	810,000	828,000	826,000	2,464,000	
うち県交付金	405,000	414,000	413,000	1,232,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,913,755	2,009,913	1,974,000	5,897,668	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課(自治振興交流グループ)
担当者名	川俣 貴史
電話	0285-32-8887
連絡先 FAX	0285-32-8606
E-mail	shiminkyoudousuishin@city.shimotsuke.lg.jp

## 栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	国分寺地区コミュニティ盆踊り&花火大会	
対象年度	元	年度

## 1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	828,000	下野市補助金
負担金	290,000	国分寺中央コミュニ推進協議会
協賛金	1,638,000	
繰越金	6,911	
雑収入	75,002	
計	2,837,913	

## 2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	215,000	168,000	84,000	47,000	謝金:90,000円 参加賞費:125,000円 事業用消耗品
消耗品費	18,988	10,000	5,000	8,988	準備及び当日弁当・飲み物等
食糧費	259,963	0	0	259,963	協賛者・招待者通知郵送代
通信運搬費	35,004	20,000	10,000	15,004	紅白幕クリーニング:76,292円
手数料	76,292	10,000	5,000	66,292	損害保険料
保険料	3,600	0	0	3,600	花火打上:1,500,540円、やぐら・審査員席設置:216,000円、電気設備仮設:395,600円、放送設備設置:50,000円、警備:42,336円、看板作成:24,084円
委託料	2,228,560	620,000	310,000	1,608,560	次年度繰越金
繰越金	506	0	0	506	
計	2,837,913	828,000	414,000	2,009,913	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単体事業調査書)  
【単体事業】

市町名	下野市
事業名	下野市南河内地区一周駅伝競走大会
事業主体の名称	下野市体育協会
代表者の名称	下野市体育協会 会長 野口俊明
事業主体の所在	〒329-0492 栃木県下野市笹原26 (下野市教育委員会事務局スポーツ振興課内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:生涯スポーツの普及と振興を図り、市民の体力向上とスポーツマンシップを涵養することに努めるとともに、明るく豊かで潤いに満ちた市民生活と文化の形成に寄与する。</li> <li>・設立年月日:平成18年3月26日設立</li> <li>・構成員等:20種目別競技団体加盟</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	この大会は、市外だけでなく県外からの参加チームもあり、スポーツを通して市をPRすることができる絶好の機会である。しかしながら、近年、参加チームは減少傾向にある。そのため、参加者数が減少している原因を探求し、参加者の増加を目指すことで、人を呼べるコンテンツにすることが必要である。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るく健康で潤いに満ちた生活を営むための要素としての生涯スポーツの振興。</li> <li>・大会を通し、役員や参加者間の交流が生まれ地域を超えた親睦の輪を広げる。</li> <li>・地域の活性化や地域の一体感・郷土愛の醸成。</li> <li>・特産品や自然などの資源など魅力の発信と本市への来訪者の増加。</li> </ul>
事業概要	<p>【令和元年度】</p> <p>開催日時:令和元年12月8日(日) 開催場所:南河内地区一周コース</p> <p>①大会の開催準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会の開催に向け、市体育協会陸上部と大会内容の確認を行い、その後、役員の分配を決定する調整会議、担当役員の役割についての説明会等を実施した。また、参加申込書やプログラム等の作成を行った。</li> <li>・市内の各施設へのチラシ配布や小中学校へポスターを掲示し、市内一般の部、小中学生の部への参加を促した。</li> <li>・市ホームページや各SNSを積極的に活用し、市外の方へも広くPRし、オープンの部への参加を促した。</li> </ul> <p>②大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技は市外の方も参加できるよう4部門(市内一般の部、市内中学生の部、市内小学生の部、オープンの部)を設けて実施した。</li> <li>・部門ごとの1~3位にメダルと賞状を授与し、表彰を行った。</li> <li>・また、上位者だけでなく、特色のあった5チームに特別賞を設け、参加者への記念品を配布することで次回大会に向けた参加意欲を高めた。</li> <li>・大会の様子はケーブルテレビにて放送してもらい、来年度の参加に向けたPRにも努めた。</li> </ul> <p>③市PRの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の特産品であるかんぴょうを使ったかんぴょう汁の無料配布を行い、市のPRやかんぴょうの普及促進につなげた。</li> </ul> <p>【令和2年度】</p> <p>令和元年度の取組を踏まえ、市のPRも兼ねた市民と市外の方がスポーツを通して交流が図れるスポーツイベントとして取り組んでいく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標②東京圏からの新しいひとの流れをつくる ④安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる</p> <p>【数値目標】 観光入込客数:H26 252万人 ⇒ H31 277万人 【H30実績 231万人】</p> <p>【KPI】 スポーツ活動の実施率:H26 51.7% ⇒ H31 53.0% 【市民アンケート調査(今回は令和2年実施予定)】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度		支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	第14回下野市南河内地区一周駅伝競走大会の開催 ①大会の開催準備 ②大会の開催 ③下野市のPRの実施	第15回下野市南河内地区一周駅伝競走大会の開催 ①大会の開催準備 ②大会の開催 ③下野市のPRの実施			下野市南河内地区一周駅伝競走大会の開催 ①大会の開催準備 ②大会の開催 ③下野市のPRの実施
事業費	632,554	720,000		1,352,554	720,000
市町支出金(ソフト事業分)	478,138	590,000		1,068,138	590,000
うち県交付金	239,069	295,000		534,069	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	154,416	130,000	130,000	284,416	130,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	スポーツ振興課(スポーツ振興グループ)
担当者名	日向野 拓也
電話	0285-32-8920
FAX	0285-32-8611
E-mail	sports@city.shimotsuke.lg.jp



## 栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。	
単位事業名	下野市南河内地区一周駅伝競走大会		
対象年度	元	年度	
1 収入の部			
科目	精算額	備考	
市補助金	478,138	下野市補助金	
参加料	123,000	参加者参加料	
(参加料内訳)		【一般の部】7,000円×9チーム 63,000円 【中学生の部】4,000円×10チーム 40,000円 【小学生の部】4,000円×5チーム 20,000円	
協賛金	31,416		
計	632,554		

## 2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
報償費	201,920	201,920	100,960	0	参加者記念品・表彰用メダル代等 176,100円 看護師謝礼 10,000円 かんびょう汁調理謝礼 10,000円 土地借用謝礼 5,820円
消耗品	52,976	52,976	26,488	0	事務用消耗品代 52,976円
委託料	156,750	156,750	78,375	0	交通警備 145,200円 花火打ち上げ 11,550円
使用料及び賃借料	75,300	66,492	33,246	8,808	ガスボンベ・コンロ借上 6,000円 仮設トイレ借上 69,300円
食糧費	113,354	0	0	113,354	役員弁当・飲み物 88,962円 かんびょう汁材料等 24,392円
保険料	32,254	0	0	32,254	参加者傷害保険 32,254円
計	632,554	478,138	239,069	154,416	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合